



10/23 阿蘇郡市代表で県大会出場

長陽中学校2年生3人が優勝

「第42回阿蘇郡市中学校英語暗唱大会」が国立阿蘇青少年交流の家で開催され、2年生の部で、長陽中学校2年生の鮫島琉生さん、藤本あみさん、渡邊涼子さんが見事優勝しました。同大会には、阿蘇郡市の中学校12校の各学年1組ずつの106人が出場。3人1組で、英語の教科書から、アメリカにホームステイした女の子の過ごし方や悩みなどが物語形式になっている単元を暗唱しました。3人は11月11日に行われた「県中学校英語暗唱大会」に阿蘇郡市代表として出場し、3位入賞を果たしました。



(左から)長陽中学校の村田みどり先生、鮫島琉生さん、藤本あみさん、渡邊涼子さん

10/23 ソフトボールで親睦を

第2回南阿蘇村ナイターソフトボール大会

村ソフトボール協会主催による、第2回南阿蘇村ナイターソフトボール大会が開催されました。

ソフトボールの普及と愛好者の親睦を深めるために、仕事終わりにも参加していただけるようにナイターを利用しての大会。スローボール投球をルールとした大会で各試合とも乱打戦となり、逆転に次ぐ逆転劇もあり大盛り上がり、そのなかでも抜群のチームワークと打撃力を誇った、脇坂工務店ワッキーズが優勝旗を手に入れました。試合結果は下記とおりです。

優勝：脇坂工務店ワッキーズ 準優勝：南阿蘇村役場カルデラズ 第3位：ウエムラ



優勝した脇坂工務店ワッキーズ

10/25 迫力ある舞で観客を魅了

長野阿蘇神社秋季大祭

長野阿蘇神社秋季大祭が、神楽の里公園「神楽殿」で開催されました。

大祭の前には、平成24年度から村と「文化交流協定」を結んでいる「台湾實踐大学」の教授と学生の6人が、久木野庁舎を表敬訪問しました。

祭りでは、長野神楽保存会(飛瀬孝治会長)の神楽奉納や、この日訪れた「台湾實踐大学」のアミ族の学生2人による踊りも披露されました。

台湾の学生も参加した第十九座「紫引荒神」では、荒神様から柴(榊)を奪われまいと、必死にしがみつくと学生姿に会場は盛り上がりを見せていました。



台湾の学生も参加した「紫引荒神」



久木野庁舎を表敬訪問した台湾實踐大学の教授(右から3番目)、学生と長野村長



大歓声の「天皇注連」

10/31 かわいい衣装で歌を披露 「にこにこひよこクラブ」「陽ノ丘荘」 慰問

10月31日のハロウィンにちなみ、思い思いの衣装に身を包んだ1～2歳の子どもたちが、特別養護老人ホーム「陽ノ丘荘」を訪れ、入所者の方の前で「幸せなら手をたたこう」など、全3曲の歌に手振りを交えながら披露しました（子育て支援センター「わくわく広場」主催）。

この日は、村内外から28人の親子が参加。会場内は子どもたちと一緒に歌う入所者の方もいたり、にぎやかな雰囲気になりました。

子どもたちは歌い終わった後、入所者の方へ鉢植えの花を贈り、入所者の方からは、子どもたちへお菓子のプレゼントがありました。



入所するお年寄りの前で手振りで歌を披露する子どもたち

10/31 誕生日に100歳表彰 藤崎フサエさん（第五駐在）

藤崎フサエさん（第五駐在）が100歳の誕生日を迎えられました。入所されている愛ライフ内牧（阿蘇市）で市原副村長から内閣総理大臣表彰の伝達と、村からの表彰状が送られました。

藤崎さんは、大正3年10月31日生まれ。家庭菜園が趣味で、施設入所中の現在は、毎日新聞を読まれます。

市原副村長は、「激動の時代に家庭を守られ、子どもさんを育てられご苦労があったと思います。ちょうど今日が100歳の誕生日です。村を挙げてお祝い申し上げます」とお祝いの言葉を述べました。



100歳を迎えられた藤崎フサエさん（前段中央）とご家族の皆さんと市原副村長

11/4 村の社会福祉増進に貢献 浅尾達夫さん「瑞宝単光章」

秋の叙勲・褒章伝達式が県庁で行われ、本村の浅尾達夫さん（第五駐在）が瑞宝単光章を受章され、その報告のため、久木野庁舎の長野村長を訪れました。

浅尾さんは、昭和46年に旧久木野村民生委員・児童委員に就任。河陰校区において、困窮されている世帯の対処や高齢者に対する福祉活動に貢献され、社会福祉協議会とタイアップした「やまびこネットワーク」事業や教育・福祉活動に積極的に取り組み貢献したことなど、その他多大な功績が認められての受章となりました。



瑞宝単光章を受章された浅尾達夫さん（左）と長野村長

11/3 今年もおいしい新そばできました 新そばまつり

「新そばまつり」が、そば道場駐車場で開催され、多くの来場者が今年収穫された「新そば」の味を堪能しました。会場は新そばのおいしい香りが漂いました。

ステージでは、毎年恒例の「そば大食い大会」のほか、そば殻が入った袋（子ども5キロ、女性8キロ、男性15キロ）を持ち上げる「そば殻さし力じまん大会」では、10キロを持ち上げる女性が続出したため、男性の参加者には、当初の10キロから15キロに変更する場面も見られました。今年初めて催した「そば川柳」の募集では、事前に村内外から93組の応募があり、まつり当日に発表されました。



目玉の「そば殻さし力じまん大会」



11/7 村の発展を期待

「ハイコムウォーター(株)南阿蘇村工場」完成披露会

村と企業誘致の進出協定を締結した「ハイコムウォーター株式会社南阿蘇村工場」が10月26日に完成し、同工場の完成披露会が荒牧俊一村議会議長をはじめ多数の関係者出席のもと開催されました。

会では、長野村長が「本工場の稼動により、恵まれた自然環境や交通の利便性を生かした、南阿蘇村の天然水が市場へ広がることで「南阿蘇村」というブランドを確たるものにできると期待します」とあいさつ。

オープニングアトラクションでは、久木野保育所の園児によるマーチング演奏や、長陽中学校吹奏楽部による演奏が行われ、工場の完成披露に花を添えました。



テープカットを行う関係者

11/4 体を動かす楽しさを学ぼう

南阿蘇西小で体力向上実技指導教室

南阿蘇西小学校（後藤廣校長）の5・6年生64名が、器械体操の基礎を学びました。

指導者は、「ウイング体操クラブ」の錦井浩樹さん、アシスタントの高橋さん、馬場さんの3人。この授業は「体力向上推進モデル校」の事業として実施されました。

授業では、体の柔軟性の大切さや、前転、後転、開脚前転、側転などマット運動の基礎やポイントを指導。6年生の神崎草悟くんは、「開脚前転、開脚後転をもっときれいにできるように家でしっかり柔軟運動をしていきたい」と話していました。

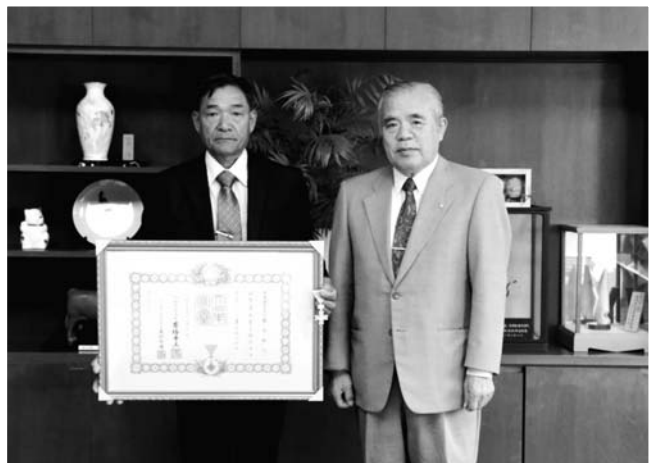


「側転はまず両手をしっかり上げ、『手・手・足・足』の順で」と指導者からアドバイスを受ける子どもたち

11/10 功績表彰を長野村長へ報告

藤本敏人さん(乙ヶ瀬)・新所区自主防災クラブ

藤本敏人さん(乙ヶ瀬)が11月7日、東京都ニッショーホールにて消防功労者として秋の叙勲(瑞宝単光章)を受章されました。藤本さんは、昭和50年に旧長陽村消防団入団後34年にわたり消防団員として活躍され、平成12年から9年間、村消防団の副団長として、消防団の発展に貢献されたことが認められての受章となりました。



「瑞宝単光章」を受章された藤本敏人さんと長野村長

また、新所区自主防災クラブが10月29日に県庁にて、優良自主防災組織知事表彰を受けました。九州北部豪雨で大きな被害を受けた新所区では、災害の教訓を活かすために同クラブが主体となり、防災訓練・積極的な予防的避難の実施、快適な避難所環境づくりの工夫などの取り組みが高く評価されての表彰となりました。



長野村長から表彰状を受け取る丸野健雄新所区長